

伊勢・三河湾貧酸素情報 (H30-17号)

平成30年10月5日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成30年10月2日に伊勢湾、10月3、4日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は下記のとおりです。

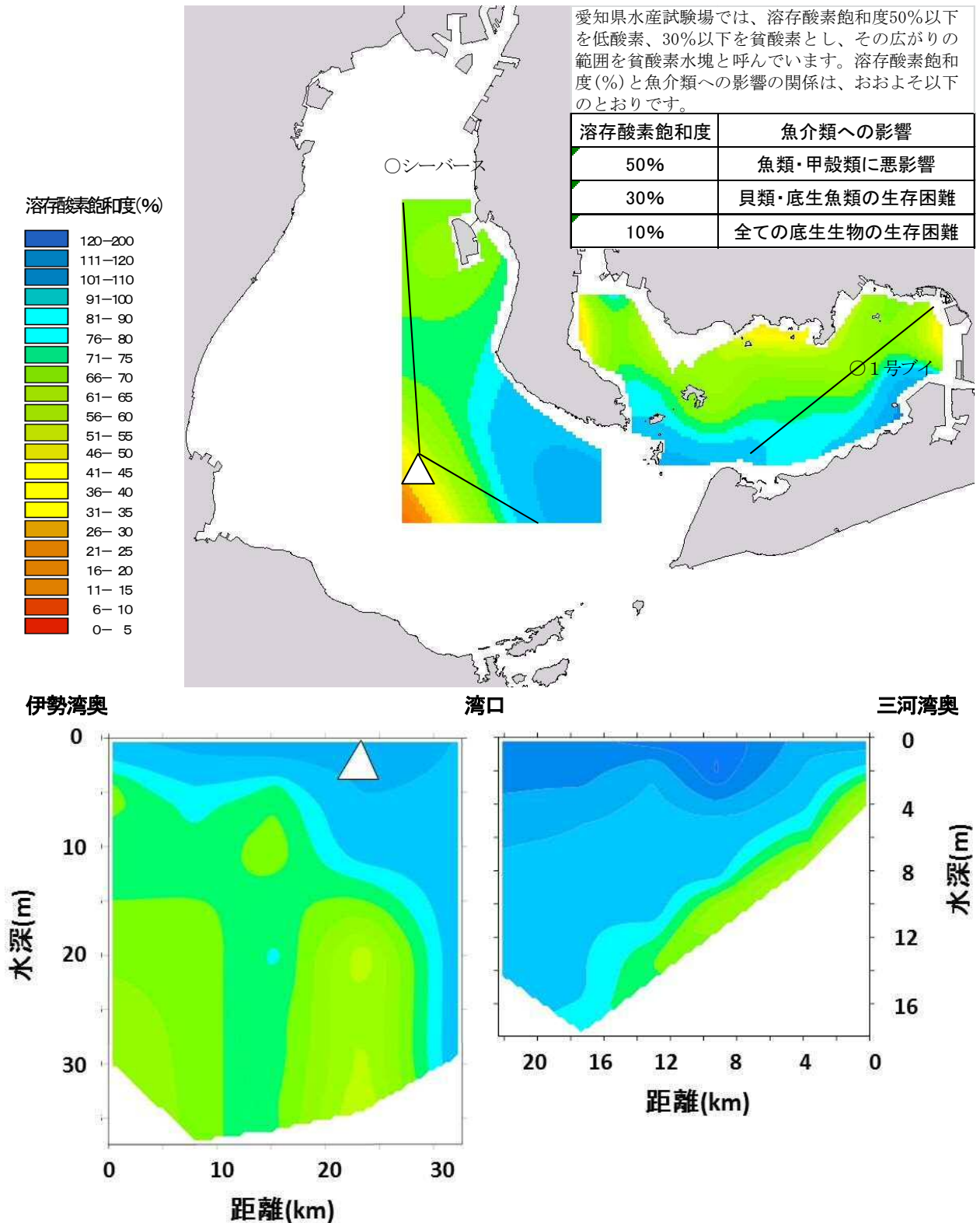


図1 伊勢湾(10月2日)・三河湾(10月3、4日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(愛知県「へいわ」調査)

伊勢湾

10月2日の調査結果を図1に示しました。湾南部では一部貧酸素水塊が確認されましたが、湾北部では解消していました。

国土交通省中部地方整備局が所管している伊勢湾環境データ管理システムのシーバースのデータを見ると、9月30日に接近した台風第24号の影響により海水の上下混合が起きて、10月1日には貧酸素水塊が解消した様子が観測されました(図2)。

今後は、海水の上下混合が起りやすい時期となるため、貧酸素水塊は徐々に解消に向かうものと考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

| | 水温(°C) | 塩分 |
|----|-----------|-----------|
| 表層 | 21.1~24.4 | 7.5~29.9 |
| 底層 | 24.6~25.0 | 30.4~32.4 |

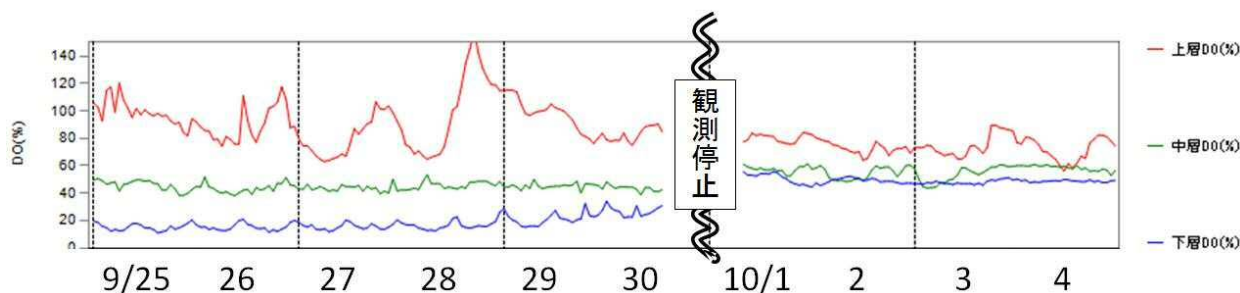


図2 伊勢湾環境データ管理システムのシーバースの溶存酸素飽和度 (DO) の経時変化 (国土交通省中部地方整備局HPより)

三河湾

10月3、4日の調査結果を図1に示しました。前回調査(9月19、20日)で確認された貧酸素水塊は解消していました。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ(蒲郡沖)のデータを見ると、9月30日に接近した台風第24号の影響により海水の上下混合が起きて、10月1日には貧酸素水塊が解消した様子が観測されました(図3)。

今後は、海水の上下混合が起りやすい時期となるため、貧酸素水塊の著しい発達はないものと考えられます。

表2 調査時の水温・塩分

| | 水温(°C) | 塩分 |
|----|-----------|-----------|
| 表層 | 21.6~23.8 | 11.9~29.3 |
| 底層 | 23.6~24.7 | 28.8~31.8 |

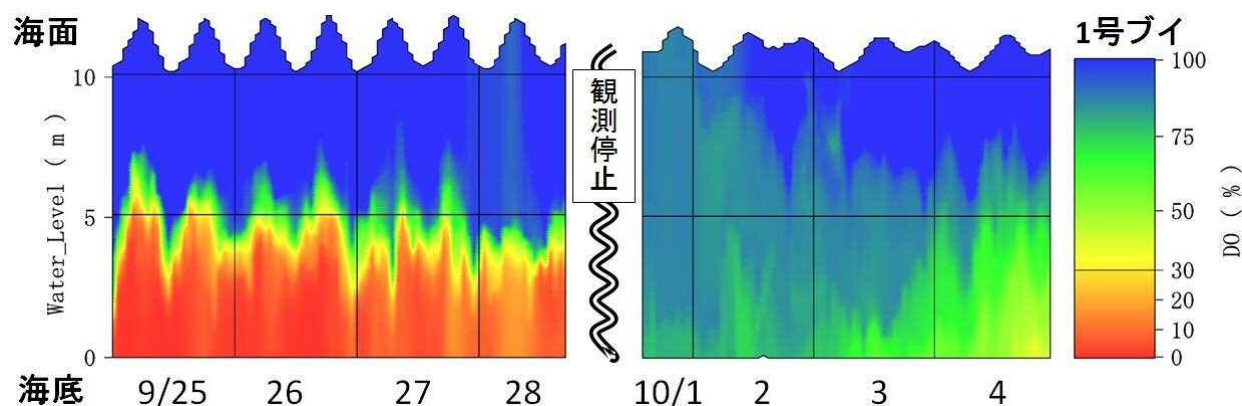


図3 溶存酸素飽和度 (DO) の経時変化 (三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ)

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

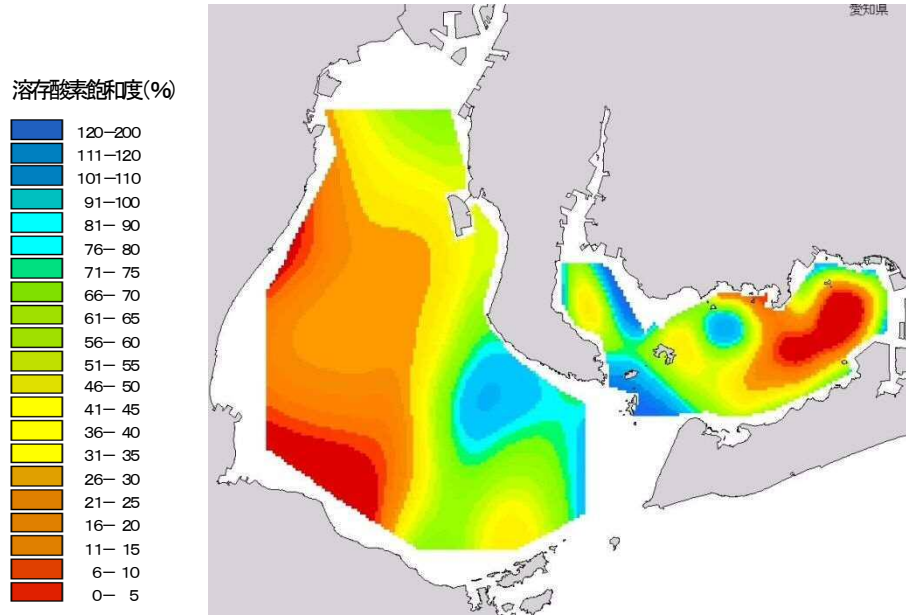


図4 平成30年9月20日 (伊勢湾)、9月19、20日 (三河湾)